

『化学職 パーフェクト演習 生物化学』(KU12786) 訂正表

2016年02月17日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
		誤	正	
P. 8	[No. 12] 問題 イ	イ カルビン回路では	イ カルビン回路では	2016/02/17
P. 9	[No. 13] 問題 選択肢 3	3 解糖系で生じたピルビン酸は、ピルビン酸脱水素混合体により脱水素、	3 解糖系で生じたピルビン酸は、ピルビン酸脱水素酵素複合体により脱水素、	2016/02/17
P. 27	[No. 15] 解説 ㊦	海洋生物などに含まれるグリセリルエーテルである。1位には飽和または不飽和のアルキルエーテルが、2位にはアシル基、3位にはアシル基かコリンリン酸がつく。	トリアシルグリセロールである。動植物のエネルギー貯蔵物質であり、生体内で量的に最も多い脂質ではあるが、生体膜には含まれない。	2016/02/17
P. 20	[No. 26] 問題 選択肢 2	糖の2位がヒドロキシ基なら RNA、水素なら DNA であり、	糖の2位がヒドロキシ基なら RNA、水素なら DNA であり、	2016/02/17
P. 24	[No. 6] 解説 解説肢 3	各種二次構造をもったアミノ酸はさらに折りたたまれる。	各種二次構造をもったペプチドはさらに折りたたまれる。	2016/02/17
P. 25	[No. 7] 解説 8行目	ドデシル硫酸ナトリウムは表面活性剤であり、分子量で	ドデシル硫酸ナトリウムは界面活性剤であり、分子量で	2016/02/17
P. 26	[No. 9] 解説 解説肢 1	二酸化炭素と NADH を遊離していく。	二酸化炭素を遊離し、NADH を生成していく。	2016/02/17
P. 26	[No. 11] 解説 ㊦	単糖類で天然に多く存在するのは D 体であり、すべての糖が右旋性を示さない。	単糖類で天然に多く存在するのは D 体である。	2016/02/17
P. 28	[No. 16] 解説 4行目	メバロン酸よりスクワレンを経て好氣的条件下で	メバロン酸よりスクアレンを経て好氣的条件下で	2016/02/17
P. 28	[No. 16] 解説 5行目	コレステロールの構造は以下の通りで、イソプレレン単位が6個重合したものである。	ステロイドの骨格構造は以下の通り。	2016/02/17
P. 32	[No. 26] 解説 解説肢 1 2行目	グアニン、チミン、ウラシルの4種類である。	グアニン、シトシン、ウラシルの4種類である。	2016/02/17
P. 33	[No. 30] 解説 ㊦	tRNA プソイドウリジンやジヒドロウラシルなど特殊なヌクレオチドを	tRNA プソイドウリジンやジヒドロウリジンなど特殊なヌクレオチドを	2016/02/17

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitai>)に掲載された日付です。